

## 国宝・名宝 7 作品の高精細複製品を展示する企画展を福島市と共催 日本美術の魅力を伝える映像体験コンテンツも提供

キヤノンおよび福島キヤノンは、2026 年 4 月 18 日（土）から 5 月 31 日（日）まで、「花の写真館」（正式名称：福島市写真美術館）において、文化財の高精細複製品を活用した企画展「高精細複製品×映像体験 国宝・名宝が福島にやってくる!？」を福島市と共同で開催します。今回展示する高精細複製品は、キヤノンと特定非営利活動法人 京都文化協会が共同で行う「綴プロジェクト」の技術を用いて制作した作品です。花の写真館での本企画展の開催は 2023 年に続き 2 回目で、今回は展示作品および映像コンテンツをバージョンアップし、より充実した内容でお届けします。



企画展キービジュアル

### <本企画展の見どころ>

#### 1. 日本を代表する絵師 6 人が描いた国宝・名宝 7 作品の高精細複製品を展示

葛飾北斎や尾形光琳など、日本美術に名を刻む 6 人の絵師に焦点を当て、それぞれの絵師の魅力が存分に表れた名品を、「桃山時代の対決」「琳派の巨匠」「江戸時代の浮世絵師」の 3 つの切り口で紹介します。オリジナルの文化財では難しいガラスケース無しの展示を実現し、作品を間近で鑑賞したり、写真撮影を楽しむことができます。これらの高精細複製品は、キヤノンの先進デジタルイメージング技術と京都伝統工芸の技の融合によって、オリジナルの文化財を限りなく忠実に再現しています。

#### 2. 多様な映像体験コンテンツを提供

「十二ヶ月花鳥図」に描かれた世界を音と映像で楽しめるプロジェクションマッピングや、来場者が「見返り美人図」にすることができるインタラクティブコンテンツ、京都・天球院の方丈障壁画を再現したイマーシブシアターといった日本美術の魅力を凝縮した映像コンテンツの体験を通して、日本美術をより身近に感じていただけます。

### <「高精細複製品×映像体験 国宝・名宝が福島にやってくる!？」開催概要>

- 会場：花の写真館（正式名称：福島市写真美術館）  
福島市森合町 11 番 36 号
- 会期：2026 年 4 月 18 日（土）～5 月 31 日（日）
- 開催時間：9：30～16：30  
最終入館は 16:00 まで
- 入館料：無料
- 主催：福島市、福島市写真美術館（公益財団法人 福島市振興公社）
- 共催：キヤノン株式会社、福島キヤノン株式会社
- 詳細：特設サイト <https://fukushima.canon/ja/news/2026tsuzuri/2026tsuzuri.html>

## 1. 展示作品

桃山時代の対決 ～躍動と静謐。桃山時代の頂点を競う二人の天才絵師対決！～

- 国宝「檜図屏風」高精細複製品

原本：狩野永徳 筆、東京国立博物館 所蔵



- 国宝「松林図屏風」高精細複製品

原本：長谷川等伯 筆、東京国立博物館 所蔵



琳派の巨匠 ～100 年越しの邂逅。時代を超えて受け継がれた技と感性～

- 国宝「風神雷神図屏風」高精細複製品

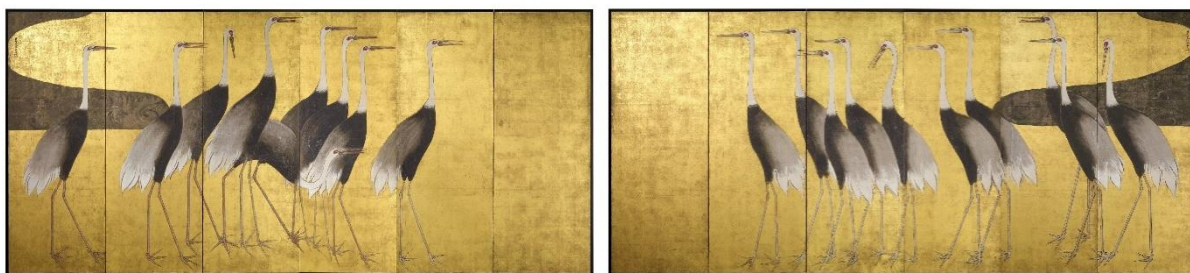
原本：俵屋宗達 筆、大本山 建仁寺 所蔵





●「群鶴図屏風」高精細複製品

原本：尾形光琳 筆、スミソニアン国立アジア美術館 所蔵



Ogata Kōrin / National Museum of Asian Art, Smithsonian Institution, Freer Collection, Purchase — Charles Lang Freer Endowment, F1956.20-21

江戸時代の浮世絵師 ～江戸の粋！世界を驚かせた浮世絵の“源流”と“革新”～

●「見返り美人図」高精細複製品

原本：菱川師宣 筆、東京国立博物館 所蔵



●「江戸風俗図屏風」高精細複製品

原本：菱川師宣 筆、スミソニアン国立アジア美術館 所蔵



Hishikawa Moronobu / National Museum of Asian Art, Smithsonian Institution, Freer Collection, Gift of Charles Lang Freer, F1906.266-267

- 「十二ヶ月花鳥図」高精細複製品

原本：葛飾北斎 筆、スミソニアン国立アジア美術館 所蔵



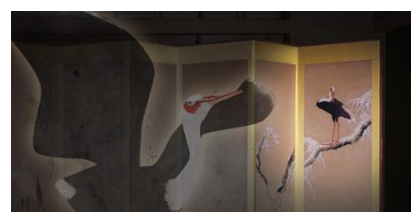
Katsushika Hokusai / National Museum of Asian Art, Smithsonian Institution, Freer Collection, Gift of Charles Lang Freer, F1904.179-180

\*「松林図屏風」「風神雷神図屏風」「群鶴図屏風」「江戸風俗図屏風」「十二ヶ月花鳥図」の高精細複製品は、キャノンと特定非営利活動法人京都文化協会が共同で行う「綴プロジェクト」で制作したものです。「檜図屏風」「見返り美人図」の高精細複製品は、キャノンと国立文化財機構による「高精細複製品を用いた日本の文化財活用のための共同研究」の一環で綴プロジェクトの技術を用いて制作したものです。

## 2. 映像体験コンテンツ

- プロジェクションマッピング：十二ヶ月花鳥図が動き出す！？

「十二ヶ月花鳥図」の高精細複製品に、季節の花や鳥を映像と音で表現するプロジェクションマッピングを実施します。屏風に描かれた1月から12月までの自然の移ろいを、音と映像で追体験できる鑑賞体験です。



プロジェクションマッピングのイメージ

- インタラクティブコンテンツ：あなたも福島で見返り美人

江戸時代の「見返り美人図」は、当時の流行を映した作品です。本展示では、来場者がモニターの前で見返りポーズを取ると、“令和の見返り美人”となる来場者参加型のアート体験をお楽しみいただけます。



「あなたも福島で見返り美人」イメージ画像

- イマーシブシアター：綴プロジェクトが生み出す美の分身

京都・天球院に飾られた綴プロジェクトの作品を壁一面に再現した没入型コンテンツです。実際に天球院の一室にいるかのような臨場感あふれる映像体験を提供します。



天球院方丈障壁画図

### <「綴プロジェクト」について>

詳細はホームページをご参照ください。 <https://global.canon/ja/tsuzuri/index.html>